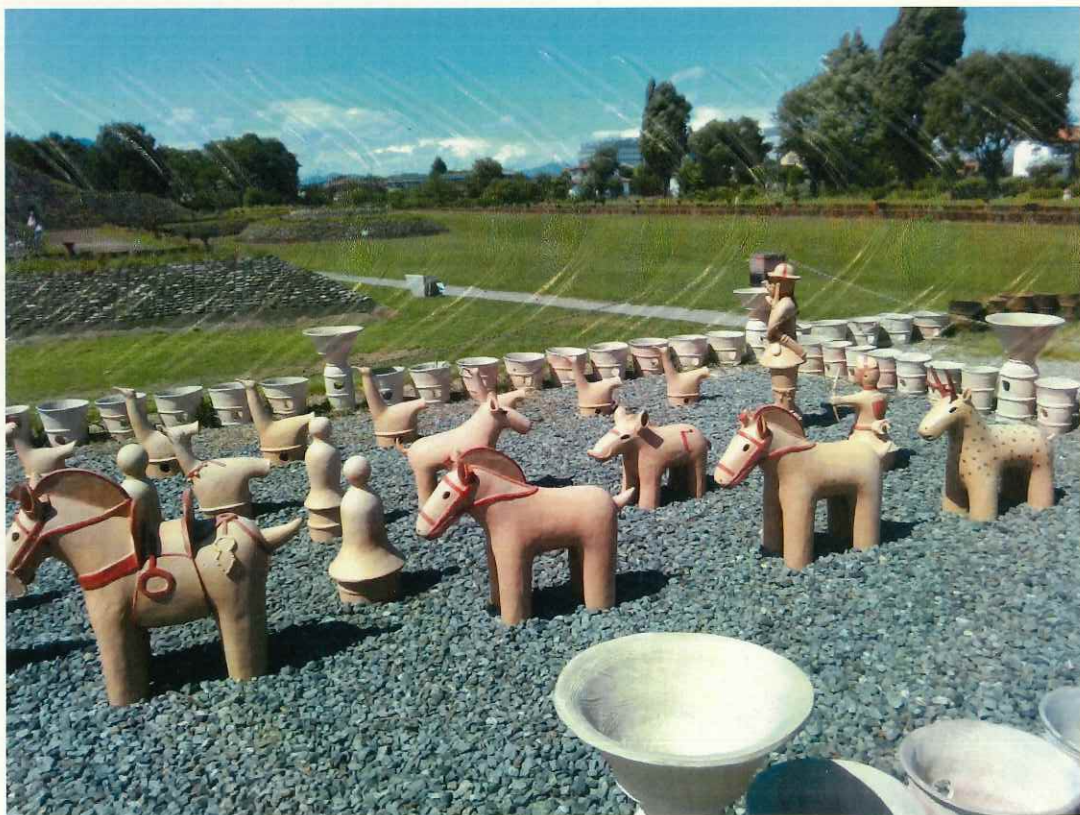


馬文化の中心地・群馬の謎

～馬の出土品から考える馬の存在～



1. テーマ設定の動機

僕は小学生のときに埴輪に興味をもち、埴輪の見学にいったことがありました。そのときに見た埴輪には巫女や農民、武人などの人物埴輪・犬や鳥、馬などの動物埴輪・家や倉庫を表した家型埴輪など様々なものがありました。しかし何よりも馬形埴輪の圧倒的な量が印象的でした。家に帰って調べてみたら、昔の人にとっての馬の存在や文化が関わっていることを知りました。そんな群馬県の馬文化をもっと深く知りたい、この時にわからなかった豪族との関わり、関係を解明したいと思ったので調べてみることにしました。

2. 馬形埴輪が多いことに対する疑問・考え

群馬県にはたくさんの古墳があり、その古墳からは多くの馬形埴輪が出土しています。その数は**350以上**と言われており、全国的に見ても豊富な数量を誇ります。また動物埴輪のうちの**90%**が馬の埴輪だといえます。しかしどうしてこんなにも馬の埴輪の割合が多いのか疑問に思いませんか？昔、日本で埴輪をつくっていた人はたくさんいたはずですが、それなのに群馬県では馬以外の動物の埴輪が全体の1割ほどしか作られなかった、これはそれだけ馬の存在がすごいものであったり、よほど人気や価値のあるものだったということを示しているのだと思います。そしてこういう考えにたどり着いたときに疑問になるのが**どうして馬に人気や価値があるのか**です。僕はこの馬の人気や価値が知りたいのでインターネットを使って 調査をしました。

3. 調査①と予想

調査①では、以前調べてわかったことやこれをふまえた予想をしていこうと思います。

①馬の伝来と埴輪

もともと日本に馬はおらず、古くても**弥生時代末期**に朝鮮半島から渡来したと言われています。4世紀末から5世紀の始めには、すでに乗馬の風習もあったそうです。また馬の用途は主に、**軍事・輸送・農耕**です。そして首長が死ぬと、その愛馬を殉死する風習があったけれど、後にその代わりに**土人形の馬(埴輪)**を葬るようになったのです。この時代になり、初めて馬の埴輪が作られるようになりました。そしてこの時代から**その人の大切なもの**や**時代の大切なもの**を埴輪にして表す・残すという風習が生まれました。

②馬の存在

「財力や軍事力、権威の象徴で非常に大切な存在であった馬がたくさん飼育されていました。」

これは群馬県の公式サイトにて述べていた一言です。馬は古墳が多く作られていた時代、古墳時代に**財力・軍事力・権威の象徴**であり、**非常に大切な存在**であったということです。つまり馬は当時の金持ちである**豪族**などしか飼うことができなかったということでしょう。ということは馬形埴輪がたくさん出土されている古墳の方が馬形埴輪の出土されていない古墳よりもより強い権力があったと言えます。また豪族らしか飼えないほど**貴重で珍しかった**といえるかもしれません。古墳に葬る人たちの権力の大きさは古墳全体の大きさなどで判断がされがちですが、埴輪の種類や、もちろん質・量などでも権力の大きさがわかるといえると思います。

③群馬県内で馬形埴輪が多く出土されている理由

②の見解や調べてわかった存在のように馬は当時の人にとって大切な生き物でした。ですがそんな馬ですがどうして県内で見つかった動物埴輪の90%を占めるほど多く作られ、出土されたのでしょうか。

2. 馬形埴輪が多いことに対する疑問・考えでも言ったように、馬形埴輪は他のどの動物の埴輪よりも圧倒的に多く作られています。ですが、どうしてそんなにも馬形埴輪が豪族と共に葬られたのでしょうか。考えられる理由としては

①群馬県には馬を所有できるような豪族が多くいた

②馬の牧畜などが他のどの地域、国（昔の）よりも盛んで馬の飼育に適した環境であった

などがあると思います。①は単純に馬形埴輪が多いということはそれなりの権力のある豪族が多くいたと予想できるから。②は馬を豪族に捧げるために繁殖などをする施設や家系があり、それらが昔の群馬県の地域に集中していたと考えられるからです。

あくまで自分の思う理由なので真相はわかりませんがこの2つをもとに更に深いところを調べていこうと思います。

4. 調査②

調査②では今回調べたことと馬の存在の答えを考え、出そうと思います。

④馬形埴輪の種類

馬形埴輪とはいっても1種類とは限りません。

有名なものだと、

- ・埴輪人の乗る馬_高林西原古墳群出土（写真1）
- ・飾り馬_オクマン山古墳出土（写真2）
- ・横座りの馬
- ・裸馬

などがあります。

写真1



写真2



この他にも様々な馬形埴輪があります。この埴輪のような馬は実際に古墳時代に存在しそれぞれ異なる場面で必要とされていたそうです。

また写真2の飾り馬のように馬具をつけている馬も群馬県から多数出土されています。

⑤馬に関わる出土品

また群馬県から出土されたのは埴輪だけではありません。④でもでてきた馬具などの**装飾品**もその1つです。この装飾品は**杏葉・雲珠・辻金具・飾り金具**の4種類が多く発見されており、主に首長などの位の高い人の葬られた古墳から多く出土しています。これらはどれも貴重で装飾品を馬につけられればつけられるほど裕福であったり富を得られていたと考えられるため出土している古墳に葬られている人は**高い地位・偉大な権力**を持っていたと考えられます。

またこれらの装飾品は自分の馬を目立たせる、着飾るものです。そのためこの着飾るということ自体が古墳時代において、**馬の高貴さや重要性**を表しているのだと思います。

装飾品を取り付ける場所



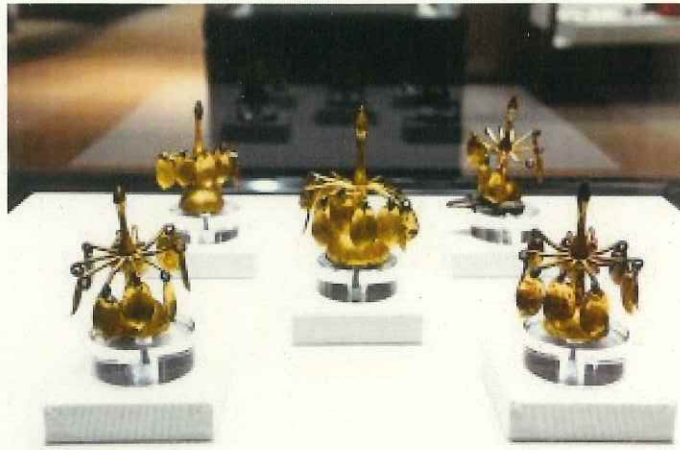
*以下の4つの装飾品はすべて綿貫観音山古墳（高崎市）から出土されたものです。



金銅花弁形鈴付雲珠・辻金具



金銅心葉形杏葉



金銅歩揺付飾金具

上の3つの写真を見てもわかるように綿貫観音山古墳からはたくさんの装飾品や形式の異なる4種類の轡（くつわ）が出土しており、4頭分の馬具が埋葬されたと考えられます。

そのため綿貫観音山古墳に葬られた人は相当な位で権力の大きい人であったと思われます。

この金属製の装飾品は5世紀半ば頃までは半数以上が中国などからの輸入品で後に日本で作られたものが増えてきました。

⑦群馬で馬文化が発展したわけ

このように群馬県古墳からは馬の埴輪だけでなく、馬具の装飾品などの実際に当時の馬が身につけていた大変貴重なものも多数出土しています。ということはやはり群馬県では馬の生産などが盛んに行われていたと十分に考えられると思います。

次にどうして群馬県が生産地となったのか気になったので調べてみました。

* 群馬県が馬の一大生産地となった理由

調べてみると群馬県はやはり馬の生産が他県（当時の他国）よりも盛んに行われていたということがわかりました。大きな理由としては、

- ①馬の生産技術を持つ渡来人の影響
- ②県の地形などが馬の生産に適していた
- ③ヤマト王権と群馬県の繋がり

などがありました。

①馬の生産技術を持つ渡来人の影響

高崎市の剣崎長瀬西遺跡の南側にある平塚古墳を後につくることとなる首長が馬の生産技術を持つ渡来人を招きいれました。この人々を中心として群馬県で馬の生産が始まったのです。

渡来人がきた根拠としては、

- ・この遺跡から朝鮮半島製と思われる金製垂飾月耳飾と韓式系土器が見つかったこと

・馬を埋葬した土壙（どこう）が見つかり、この馬に鉄製環状鏡板付轡がついていたこと

これらの朝鮮半島由来の品が出土していることから渡来人がこの地で生活していたということがわかりました。

*以下の3つはすべて剣崎長瀬西遺跡で出土されたものです



韓式系土器



金製垂飾月耳飾



鉄製轡

朝鮮半島と日本のヤマト王権が戦った際に朝鮮半島には馬がいて強かった。このことがあり、ヤマト王権は馬に目をつけました。そんな中、群馬の首長がヤマト王権以外の地域の中でいち早くこの馬に目をつけ生産を開始したのです。

後に平塚古墳をつくる首長が馬に目をつけたことが群馬県の馬の生産の第一歩となり生産が盛んになった一つのきっかけになりました。

②県の地形などが馬の生産に適していた

古墳時代の群馬県では渡来人や首長のおかげということもあって、各地で多くの馬が飼育されており、官牧が9カ所もありました。また私牧もたくさんあったそうです。

9カ所の官牧の中でも6カ所は場所が推定されています。

—場所が推定されている官牧—

①新屋牧__甘楽町

②市代牧__中之条町

③塩山牧__下仁田町

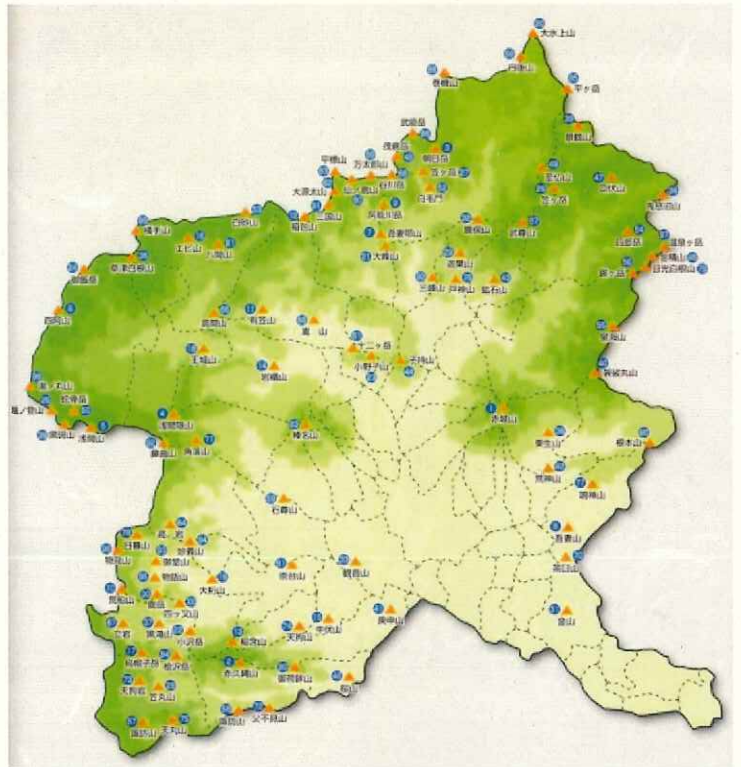
④大塩牧__みなかみ町（旧月夜野町）

⑤有馬牧__渋川市有馬

⑥利刈牧__渋川市（旧子持村）

この6カ所の官牧はどれも山の麓つくられていました。馬は涼しい場所を好むため、馬にあった涼しい山の麓に建てた可能性が高いです。また、馬の餌である牧草も山の麓には比較的多く生えていたため馬の放牧には適していたと考えられます。

群馬県は右の位置図を見てもわかる通り、非常に山が多いです。今の群馬県が古墳時代の群馬県と同じとは限りませんが、この山の多さも馬の生産の理由に繋がっていると思います。



群馬百名山位置図

③ヤマト王権と群馬県の繋がり

調べていくとヤマト王権と群馬県は後の東山道でつながっていたことがわかりました。馬の生産が始まる前はヤマト王権と東国を結ぶ道は陸と太平洋岸の航行を経て東京湾に行き、そこから利根川をさかのぼっていったとされていますが、馬の生産が始まり、馬が登場すると内陸の東山道を使い通るルートとなりました。そしてこのルートで群馬県で生産した馬をヤマト王権に送ることができるようになりました。生産された馬は毎年、選び抜かれた50頭をヤマト王権へ貢納していたそうです。

右の地図は東山道ルートと5世紀後半の主要遺跡が記してあるものです。上野という地域がこの時代の群馬県（東国群馬）です。今で言う長野県や岐阜県の辺りを通る真ん中のルートが東山道ルートです。地図左下の大和がヤマト王権です。



5. まとめ

- ・古墳時代の馬は財力・軍事力・権威の象徴で非常に大切な存在だった
- ・自分の権力などを残すために、権威の象徴であった馬の埴輪を作らせ、死体と共に葬らせた。
- ・馬形埴輪の数や量・質、馬具の装飾品を見れば出土された古墳の豪族の権力や当時のおおまかな様子を予想することができる。
- ・馬形埴輪は数種類発見されている。
- ・馬の馬具の装飾品は貴重で主に首長クラスの古墳で出土されている。
- ・また装飾品は貴重だったため出土された古墳に葬られた人は位が高く、権力も大きいと予想できる。
- ・群馬県には渡来人が渡っており、この人らを中心に馬の生産が盛んに行われていた。
- ・後に平塚古墳を建てる首長がいち早く朝鮮半島の馬に目を付けたことが馬の生産の第一歩となった。
- ・群馬県の官牧の6カ所は馬の涼しい気候を好むという特徴に合わせて、山の麓に建てられた。
- ・ヤマト王権と群馬県は後の東山道で繋がっていた。

当時の政治の中心地であったヤマト王権にとって重要であった馬を群馬県が生産し、献上することで、有名な馬の生産地となり、馬文化を大きく発展させることに繋がった。

6. 感想

僕は今回、馬という一つの動物だけに目を向け調査をしていきました。

群馬県は今では首都とはかけ離れた田舎と思われがちな県ですが、過去には朝鮮半島と交流をして、馬の生産に成功してしまうほどグローバルな県であったとは思いませんでした。このことを知ったときの驚きは今も心に残っています。群馬県の馬文化はあまり詳しい方もおらず、調べるのが大変でしたが、調査をしていて楽しかったです。自分なりにこうだったかも知れない！この可能性もあるかもと考え、予想することもできて自分を成長させるいい機会になったと思います。群馬だけに馬が有名だったとは想像もしなかったです。

今回調べ、集めた資料を見ると群馬県って良い所だな、今まで知らなかったけれどすごい所だったんだと改めて自分の地元群馬に誇りを持つことができました。

僕は正直に言ってまったくと言っていいほど群馬の馬文化を知りませんでした。ヤマト王権とも関係が無いと思っていました。ということは僕のように群馬の馬文化を知らない子どもたちは少なからずいると思います。せっかく昔の人が頑張って築いた文化でも僕たちがわからなければ意味もないし、努力が水の泡になってしまいます。だから僕たちが馬の価値や重要性を伝えていくのが大事だと思います。

今回のようにやりたい！調べたい！とやりがいや興味を持って取り組めば、ここで学び体験したことはずっと心に残ると思います。今、できることや行動範囲は限られてしまっていますがこれからも「進んで物事に取り組む姿勢」を忘れずにたくさんのご経験していこうと思います。

7. 参考文献

- ・ 太田市HP

<https://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0170-009kyoiku-bunka/bunkazai/otabunka30.html>

<https://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0170-009kyoiku-bunka/bunkazai/nittabunka38.html>

- ・ 群馬県HP

https://www.pref.gunma.jp/03/c42g_00086.html

https://www.pref.gunma.jp/houdou/x46g_00055.html

<https://www.pref.gunma.jp/01/e2310106.html>

- ・ 高崎市HP

<http://www.city.takasaki.gunma.jp/docs/2013121800693/>

- ・ 美術展ナビ

<https://artexhibition.jp/topics/features/20200731-AEJ273862/>

- ・ 東国文化副読本

- ・ 国宝武人八二ワ、群馬へ帰る！

- ・ 東国古墳時代埴輪生産組織の研究 ―埴輪生産の交流と地域性をめぐって― 日高 慎/著

- ・ 東アジアに翔る上毛野首長・綿貫観音山古墳 大塚初重、梅沢重昭/著

* 表紙の写真

高崎市 保渡田古墳群・八幡塚古墳設置物